2021年6月27日　多言語化現象研究会　発表資料

多言語電子絵本の紹介
と
図書館への期待

発表者
多言語絵本の会RAINBOW
石原弘子

多言語絵本の会
RAINBOW

https://www.rainbow-ehon.com/

自己紹介

1972年-1982年　大阪府下で、家庭文庫を始め、図書館づくり運動→1978年、市立図書館開館

1995年-1998年　大阪市内で日本語ボランティア活動を開始

2000年-　東京都目黒区内で「にほんごの会くれよん」を開始

特徴：乳幼児をつれて参加できる

2006年-　多言語絵本の会RAINBOWを開始

多言語よみきかせ

2009年-　多言語電子絵本制作

2017年　博報賞、2018年　文化庁長官表彰、2019年　厚労省子ども家庭局長賞をいただきました。

2020年11月　全国の公共図書館　872館に多言語電子絵本のデータDVDを寄贈

全国図書館大会多文化サービス分科会で発表

なぜ、多言語活動を始めたか？

ある日の「にほんごの会くれよん」の保育室のようす

私のことばは、
日本では必要ない！

2003年

多言語絵本の会RAINBOW

＜活動内容＞

①　多言語よみきかせ

図書館で	**2006年**2月～2015年3月
小学校などで	2009年～

②　多言語電子絵本の制作　　**2009年～**

＜活動目的＞

- 外国にルーツをもつ子どもが、日本語ともうひとつの言葉に触れて成長できるように
- 日本生まれで、日本語で育つ子どもが、英語以外の外国語に触れることができるように
- 外国人住民の地域参加の機会になるように

図書館で
多言語
よみきかせ

英語で手遊びを紹介

2冊の絵本で、中国語と日本語

1冊の絵本で、スワヒリ語と日本語

遊びの紹介

参加者は日本人親子ばかりです。
子どもたちは、今日は何語かな？と言いながら会場に入ってきます。
日本語で意味が分かり、外国語は、音を楽しんでいるようです。

3冊の絵本で、日本語、英語、中国語

2006年から2015年まで、丸9年間続いた多言語よみきかせが継続できなかった理由

- **児童サービスと多文化サービスの混同**
- **RAINBOWの単独事業になっていて、区内の類似団体を巻き込んでいなかった**

小学校などで多言語よみきかせ

東京都
世田谷中央図書館
と
ブッククラブ
えほんだな！

「世界のことばで読み聞かせ」

中学1年生の時から中国語で
読んでくれています

多言語電子絵本について

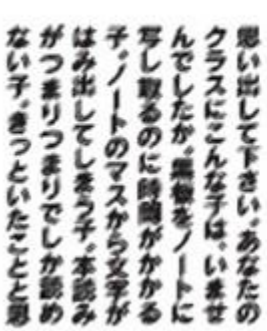
電子書籍　　EPUB3

マルチメディア　デイジー

ChattyBooks（デイジーをWeb上で読めるアプリ）

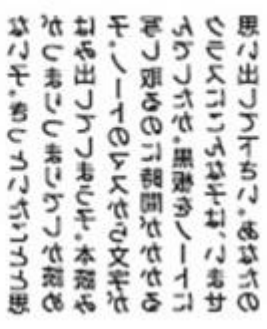
マルチメディア　デイジー Digital Accessible Information System

文字がにじむ

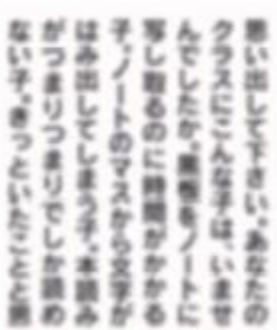


文字がゆらぐ

鏡文字になる



文字がかすむ



知的にも視覚や聴覚にも問題はないのに、印刷物の読みに困難を持つ場合があります。

https://www.dinf.ne.jp/doc/daisy/index.html　より

マルチメディアデイジー

公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会　情報センター
TEL:03-5273-0796　FAX:03-5273-0615
e-mail:daisy_c@dinf.ne.jp

印刷物を読むのが困難な人の読書を助ける電子書籍システム
　　文字と音が同期していく
　　文字の大きさ、読む速さ、背景色を変えることができる
読み取りソフトが必要
Windows対応で、Macには対応していない
学校の教科書のデイジー版を無償提供している

ChattyBooks

ＮＰＯ法人サイエンス・アクセシビリティ・ネット

マルチメディアデイジーの読み取りソフトの１つで、作品をWeb上で視聴できる
使用する人のブラウザーで再生する
非営利目的で使用できる

視聴体験へ

目黒区子ども条例のえほん

「すごいよ　ねずみくん」

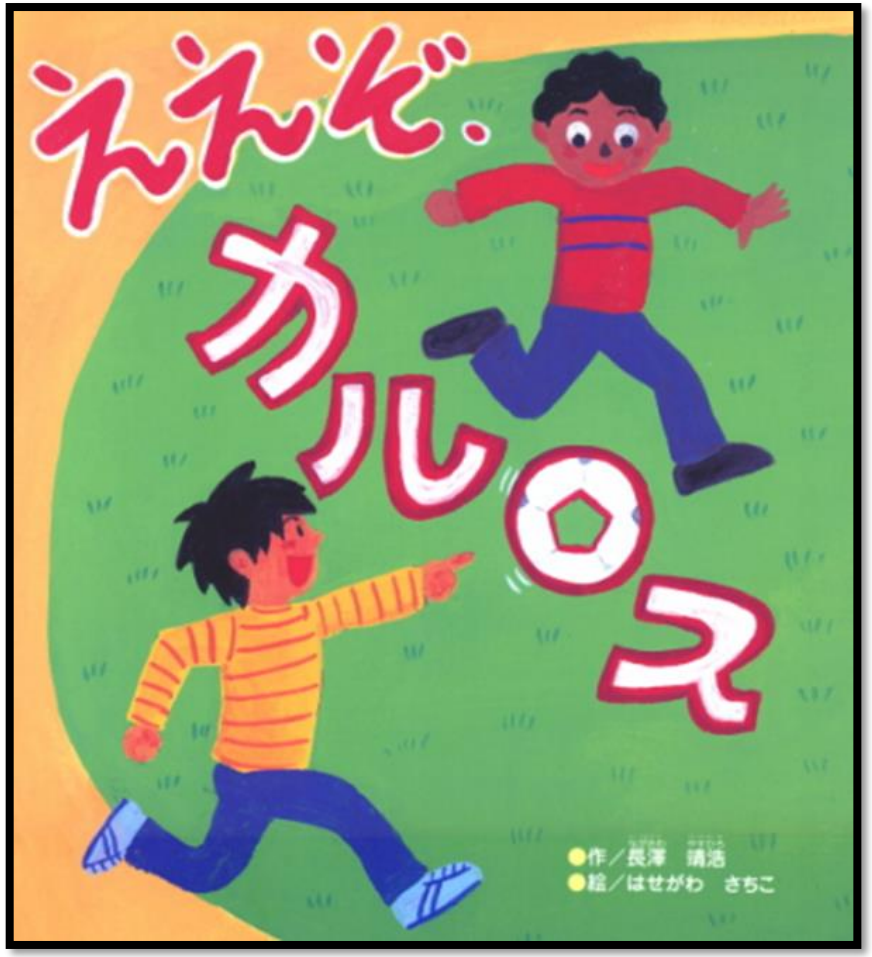
２００９年発行

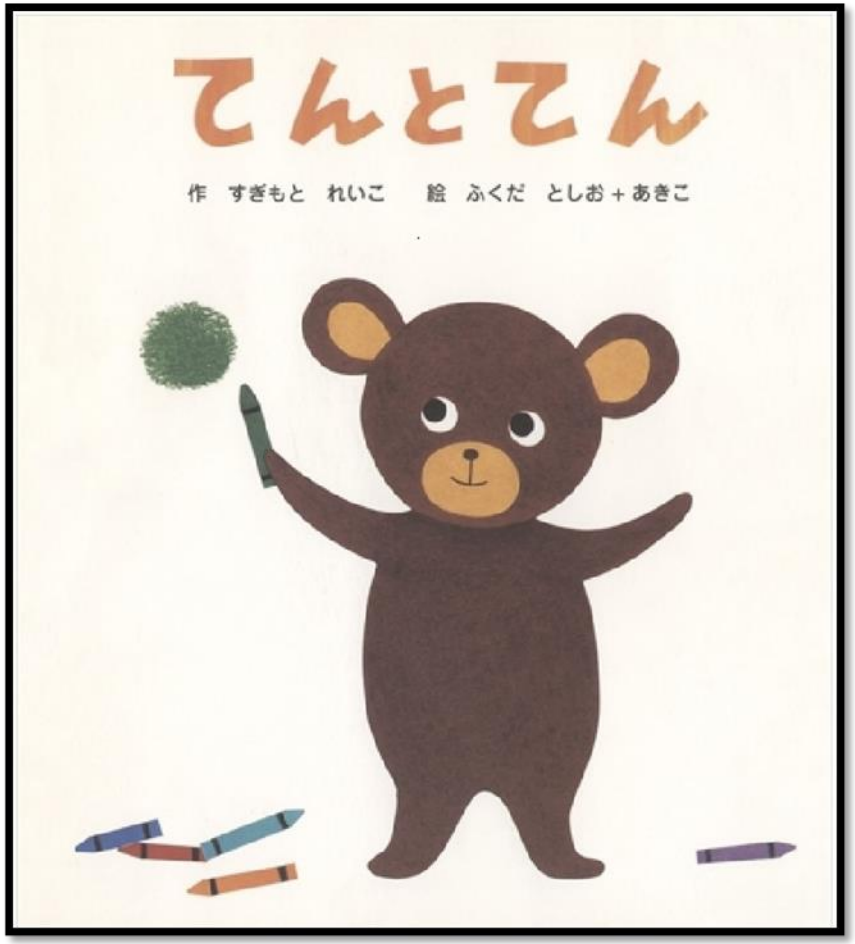
いつもボクってダメなやつと思っている
ねずみくんが、ある日、ねずみくんだから、
友だちを助けることができ、みんなから、
「すごいよ　ねずみくん」と言われるという
うお話です。

協力：きむらゆういち氏
現在：13言語

2020年寄贈：大阪市人権絵本原作コンクール優秀賞受賞作品

現在：10言語





現在：11言語

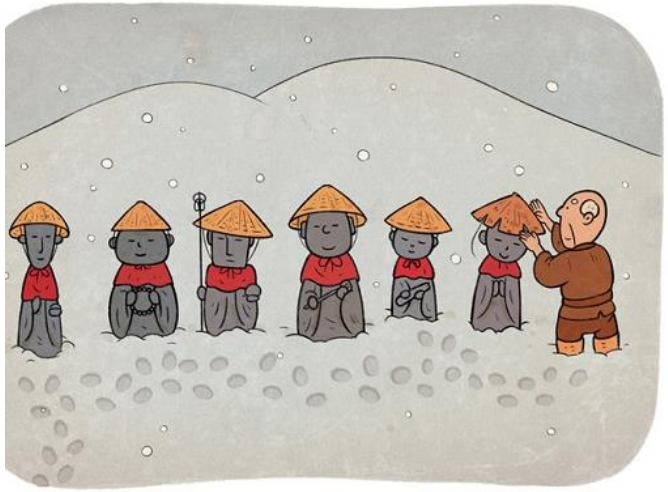
電子絵本企画制作：NPO法人おおさかこども多文化センター

さるかに

うらしまたろう

かぐやひめ

はなさかじい



かさじぞう

つるのよめさま

日本昔話

協力：浜　なつ子（作家）
　　よこやま　ようへい（画家）

新美南吉の絵本

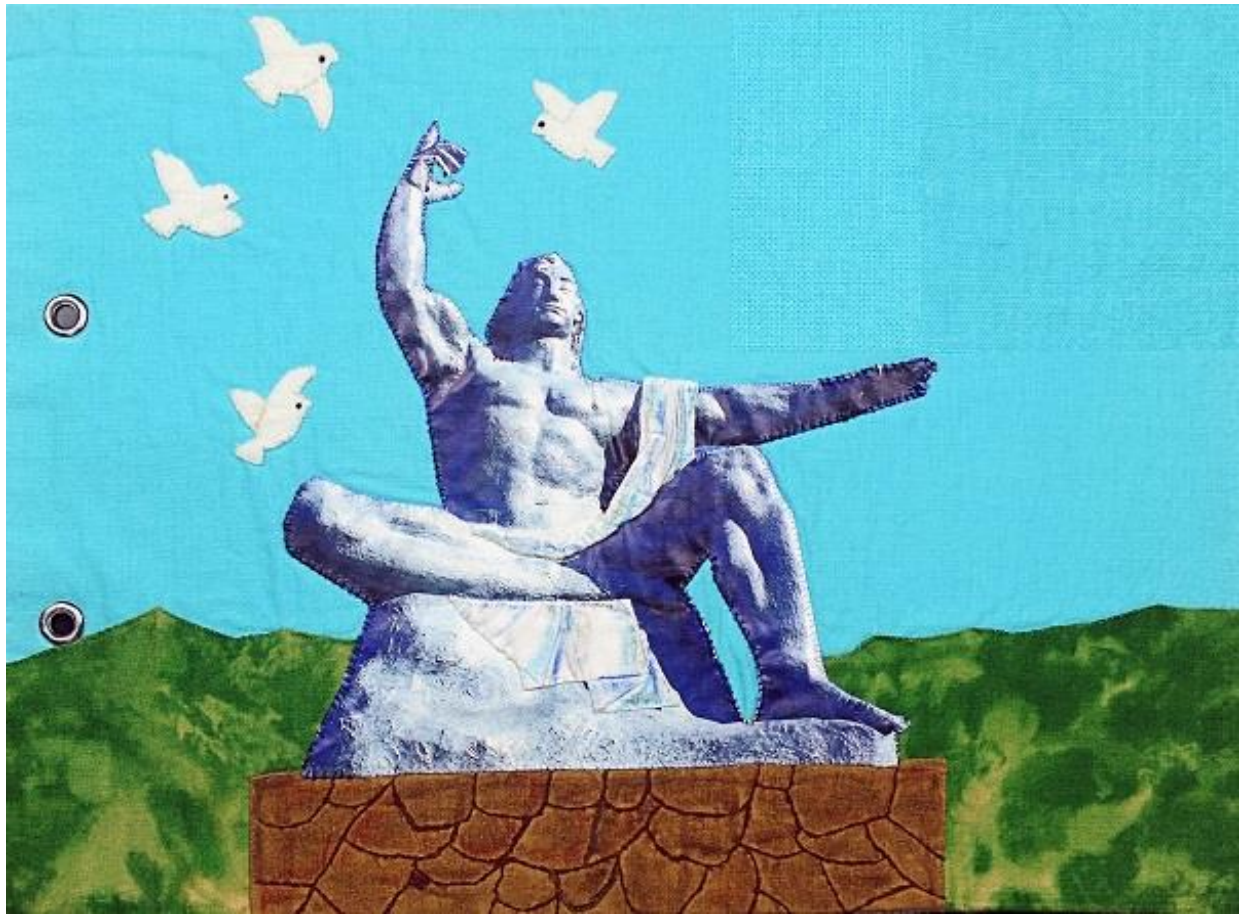
ごんぎつね

協力：公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会

あめだま

協力：NPO法人地球ことば村

布のえほん



長崎の原爆　　作：北部ゆりの会

現在：11言語

多言語電子絵本文庫を図書館に寄贈

- 原作　12
- 言語　18
- 作品数　129
- 形式　ChattyBooks

マルチメディアデイジーをWeb上で視聴

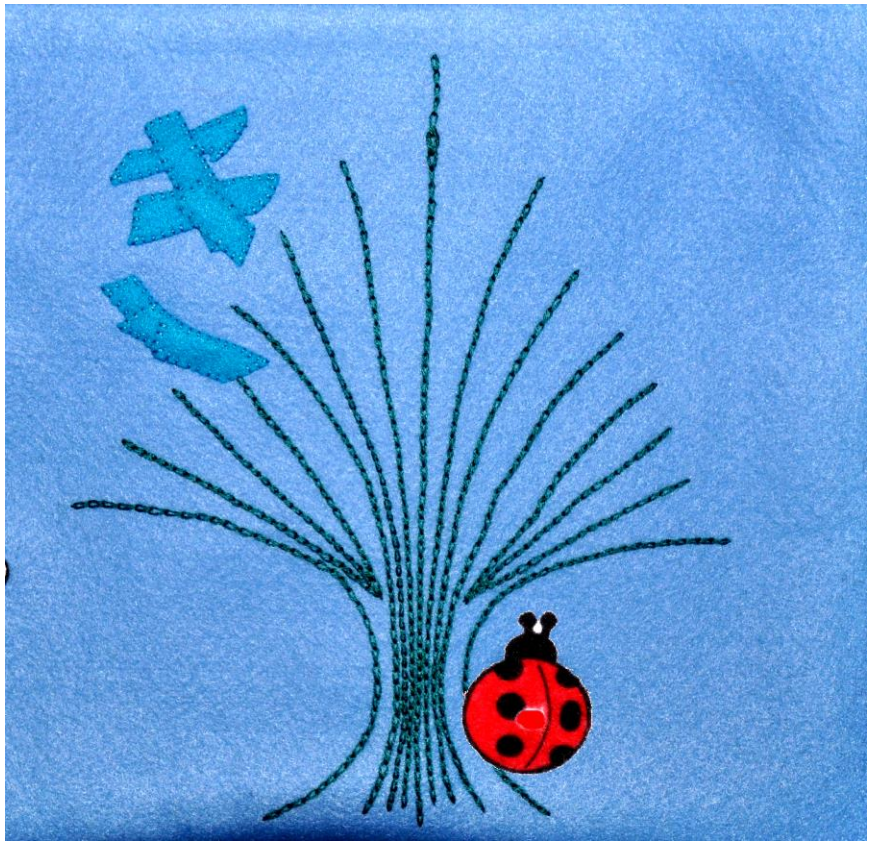
協力

- NPO法人おおさかこども多文化センター
- NPO法人地球ことば村
- 公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会
- おむすびころりん愛知
- NPO法人にほんご豊岡あいうえお　など多数

2021年寄贈：布のえほん　（あかちゃんえほん）

おはよう おやすみ　作：渡辺順子

現在：28言語



かずのほん　作：モモタ　アキコ

現在：28言語

さるかに

うらしまたろう

かぐやひめ

はなさかじい

かさじぞう

つるのよめさま

バイリンガル日本昔話

協力：浜　なつ子（作家）
　　よこやま　ようへい（画家）

トラババ

トラとほしがき

うしかいとおりひめ

スターフルーツの木

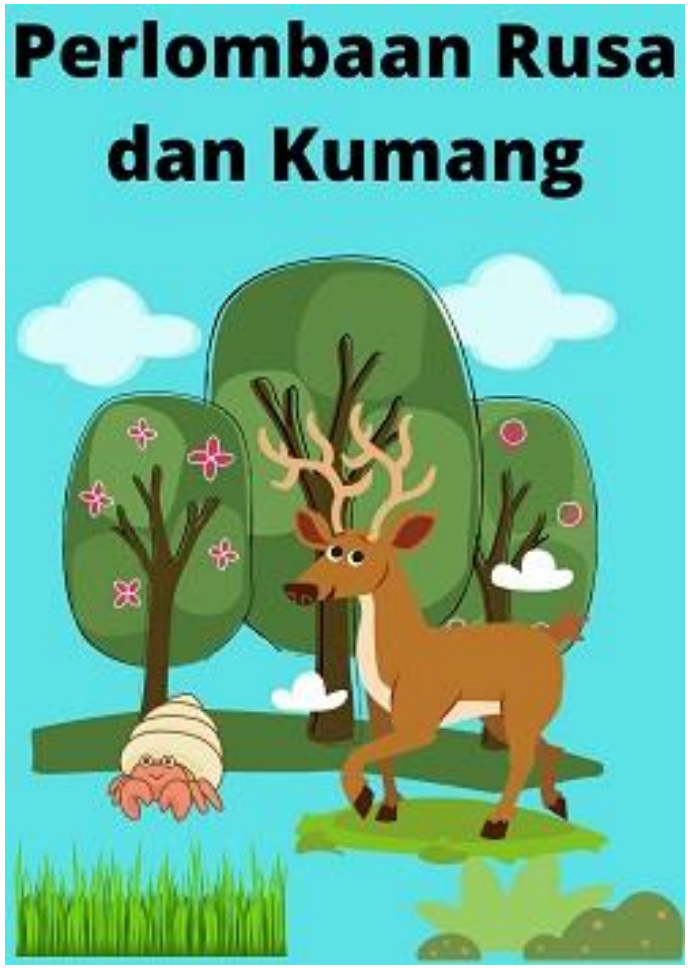
金の魚のはなし

バイリンガル
各国のむかしばなし

台湾、韓国、中国

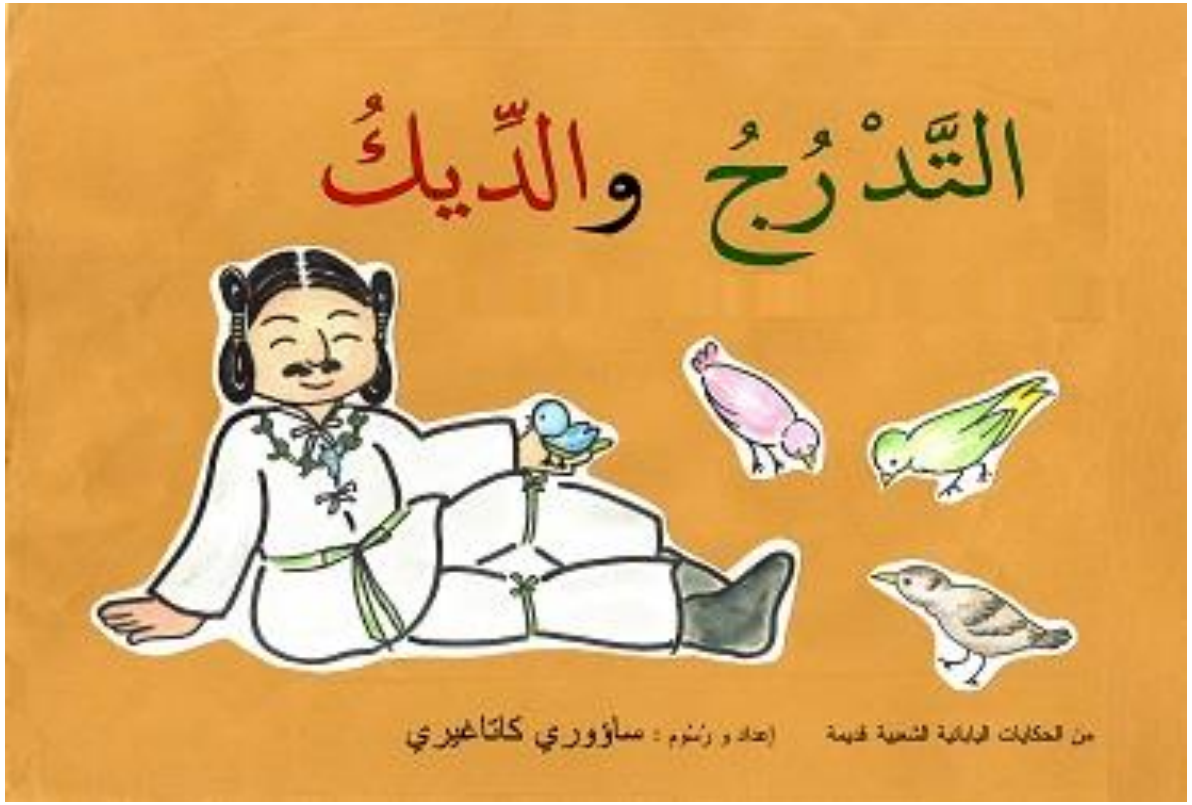
ベトナム、ロシア

2021年度　新作



インドネシア民話

インドネシア語、英語、日本語



日本の昔話

日本語、英語、アラビア語

＜なぜ、寄贈したか？＞

- 外国にルーツをもつ子どもの言語育成は、家庭に任されている
- 日本語習得に追われ、母語、母国語を失っていく
- 社会的に応援するのは、図書館の役割である
- 多言語資料がない

寄贈の結果

872館中3館が
受け取り拒否

44館から、
郵便、電話、
メールで反応あり

27都道府県におよび
府県立図書館は8館あり

肯定的
外国語資料がないので、活用したい　　数館
ポスターを作成して、掲示、広報したい
ブックスタート事業時に広報したい
外国語でおはなし会で使う
電子図書館資料にする
地域の関連機関に知らせる
バリアフリー展で展示する
戸惑い
複製してよいのか
個人貸し出しが可能か　数館
オフラインで使えるか
無反応の図書館
資料として、どのように扱えば良いか分からない

第106回　全国図書館大会
多文化サービス分科会　2020年11月20日～30日

演題：「変身！外国人も行きたいと思える図書館へ」

1. 多文化サービス担当を配置してください
配架に工夫を
外国語で、検索ができるように

2. 他の機関と連携してください

3. 図書館が呼びかけて、多言語資料を増やしてください

4. 図書館を宣伝してください

発表の結果

発表動画中、
ほぼ最低の再生数
130数回

＜良かったこと＞

「児童サービス対象者に、日本語を母語としない子どもがいることを失念していた」と気が付いてもらえた　⇒「子どもの読書を考える事典」に執筆（長嶺さん）

＜なぜ、アピールしなかったか＞

演題に興味がない

私の肩書

多文化サービスへ関心が低い

全国図書館大会への期待の薄さ

発表内容に、過去を振り返るのが目立った

図書館総合展が同時期に開催されていた

図書館への期待

全国図書館大会から分かったこと

公共図書館の変化

次に向けて

第1分科会　公共図書館

地域とつながり共に歩む公共図書館のチャレンジ

基調講演：地域から考える公共図書館の意義

報告1：司書が人々をつなぎ地域のハブとなる図書館を目ざして
岩手県　紫波町図書館

報告2：鳥取県立図書館のくらし支援サービスの歩み
～医療・健康情報サービスを中心に～
鳥取県立図書館

報告3：夢や未来をつなぐサポートを
～広島市立中央図書館のビジネス支援サービスの取り組みについて～
広島市立中央図書館

図書館内に
産直コーナー

野菜売り場
にレシピ本
の紹介

司書が人々をつなぎ地域のハブとなる図書館を目ざして

紫波町図書館（岩手県）

- 情報と人、人と人をつなぐことが基本姿勢
- 地域資料の網羅的な収集・保存
  聞き書きで歴史を残す
- 企画展示は、司書が地域に情報を探しにいく
- 司書は人財バンク
- 町の産業（農業）を支援する
  農文協の協力で「出張としょかん」
  図書館に来られない人へ直接届ける

鳥取県立図書館のHPより

人と資料を結ぶサービス

人と人を結ぶサービス

あなたの「不安」を「安心」に！

医療・健康情報サービス

健康について不安を感じたことはありませんか？

例えば…

- ＊健康な生活が送りたい
- ＊体調が悪い・・・病気かしら・・・？
- ＊病名が分かったけど、どんな治療法があるの？
- ＊他の人の闘病体験を知りたい
- ＊家族の介護はどうしたらいいの？

健康への手がかり

医療・健康情報サービスでは、健康づくりや予防法、病気や薬、最新医療などに関する情報を提供しています。

1 本や雑誌で健康情報を調べる！

- ＊病気、検査、治療、薬、食事療法、リハビリ、看護、介護など、入門書から専門書まで揃っています。
- ＊新しい情報やコンパクトな情報は雑誌が便利です。
- ＊学術論文や新聞記事はデータベースで検索できます。

2 闘病記文庫コーナーで調べる

- ＊病名ごとに体験談を集めた約1300冊の闘病記があります。
- ＊患者会の資料や、関係機関のチラシ・パンフレットも置いています。
- ＊病気ごとに基本資料や相談機関などを紹介した「調べ方案内」を作成しています。

3 資料相談をご利用ください！

欲しい資料が見つからない時、より詳しく調べたい時は、図書館の司書にお気軽におたずねください。

鳥取県立図書館

〒680-0017　鳥取市尚徳町101
TEL 0857-26-8155　FAX 0857-22-2996
mail:toshokan@pref.tottori.jp
http://www.library.pref.tottori.jp/
ツイッター、フェイスブックもご利用ください。

図書館で心も体もいきいき！

いきいきライフ応援サービス

老後の生活に不安はありませんか？

- ＊健康長寿の秘訣は？
- ＊自分でできる健康づくりってある？
- ＊もしも病気になったら…
- ＊人生を楽しく暮らすために何かやってみたい！
- ＊定年後の人生設計を立てたい！
- ＊最近、活字が読みにくいなあ…

図書館でいきいき！？

いきいきライフ応援サービスでは心も体もいきいきと健康長寿で暮らすための提案を行っています。

1 図書館で、老後をいきいき！

「いきいきライフ応援コーナー」には、老後の生活に不安や期待を抱いている皆さんが、それぞれの課題を解決するのに役立つ本があります。

- ＊百歳文庫・・・日野原重明さん、柴田トヨさんなど、高齢の著者の本
- ＊心も体もいきいき・・・「音読してみよう」「認想法」「健康体操」「脳トレ」など
- ＊病気になったときに・・・「認知症」「生活習慣病」「うつ病」「介護生活」など
- ＊人生を楽しく・・・「料理」「手芸」「パソコン」「ガーデニング」など
- ＊いきいきセカンドライフ・・・「地域活動」「孫育て」「資格ガイド」など
- ＊安心セカンドライフ・・・「相続・遺言」「年金について」「エンディングノート」など
- ＊音で楽しむ読書・・・池波正太郎などの時代小説、講演などの朗読CD

2 音読で、あたまいきいき！

昔話や詩など、図書館の本を声に出して読む「あたまイキイキ音読教室」を行っています。

地域の集まりやご家庭でも、音読をしてみませんか。

3 活字が読みづらくなった方へ

大きな文字で読みやすい「大活字本」や、本の朗読を吹き込んだ「CD」や「携帯プレーヤー」など「録音図書」の貸出をしています。

来館が困難な方には「郵送貸出」も行っています。お気軽にご相談ください。

鳥取県立図書館

〒680-0017　鳥取市尚徳町101
TEL 0857-26-8155　FAX 0857-22-2996
mail:toshokan@pref.tottori.jp
http://www.library.pref.tottori.jp/
ツイッター、フェイスブックもご利用ください。

すべての人にすべての図書館サービス・資料を！

はーとふるサービス

図書館を利用するのに困っていることはありませんか？

例えば・・・

- 活字が読みにくい
- 耳が聞こえにくい
- ページがめくれない
- 図書館に行けない
- 妊娠していて思うように動けない

図書館がサポート

1 さまざまな資料でサポート！

- 大きな文字で読みやすい『大活字本』
- 本を耳で楽しむ『録音図書』など

録音図書を聞く機器

2 いろんな「困った」に応じたサポート！

対面音訳風景

- 図書館へ直接来られない方の自宅に郵送する『郵送貸出』
- 希望の本を代わりに読む『対面音訳』など

3 バリアフリーな設備でサポート！

- ハートフル駐車場や多目的トイレなど
- コミュニケーションを円滑にするための携帯助聴器「ボイスメッセ」、筆談ボード、遠隔手話通訳サービスなど

※一部利用制限があります

詳しくはお問い合わせください

鳥取県立図書館

〒680-0017　鳥取市尚徳町101
電　話 0857-26-8155　FAX 0857-22-2996
メール　toshokan@pref.tottori.jp
WEB　http://www.library.pref.tottori.jp/

広島市立中央図書館のビジネス支援サービス

ビジネス支援情報コーナー

中央図書館3階には、会社情報・業界情報・統計資料等を集めた「ビジネス支援情報コーナー」や、ビジネスに役立つチラシ・パンフレットを集めた「ビジネス支援関連機関のチラシ・パンフレットコーナー」があります。起業・創業や、販売促進・経営革新を考えている人、個人事業主、中小企業経営者や就職活動中の方など、多様なビジネスの場面で「仕事」や「悩み」に役立つ様々な資料や情報を提供してビジネス活動をサポートしています。
調べものや図書館の利用に関するご相談は、「調査・相談（レファレンス）サービス」をご利用ください。

ビジネス支援関連機関のチラシやパンフレットコーナー

国・県・市のビジネス支援関連機関、金融機関などの制度・施策や、事業紹介、各種セミナーなど様々な情報のチラシやパンフレットを3階参考閲覧室前に設置しています。

提供機関名

各機関のホームページがご覧いただけます。

- 中小企業庁
- 特許庁
- 中小機構　中国本部
- （公財）ひろしま産業振興機構
- （公財）広島市産業振興センター
- （一社）広島県中小企業診断協会
- （株）日本政策金融公庫
- 広島県信用保証協会
- 広島商工会議所
- （一社）広島県発明協会
- （特非）ひろしまNPOセンター
- （一財）機械振興協会（BICライブラリ）
- インキュベーション施設（レンタルオフィス、ビジネス拠点施設など）
- 金融機関（銀行、信用金庫など）

ビジネス支援を活用した創業事例

「ビジネス支援を活用した創業事例」のページはこちら

ビジネス支援連携機関

「ビジネス支援連携機関リンク集」のページはこちら

高校生への起業教育支援

高校生ビジネスプラン作成講座

高校生ならではの自由な発想や創造力を活かしたアイデアからビジネスプランを作成するための基礎や、図書館の活用方法を学ぶ講座を開催しています。その過程のなかで、図書館の資料・情報を提供し、サポートしています。
また、「高校生ビジネスプラン・グランプリ」（（株）日本政策金融公庫主催）へのエントリーを目指した個別フォローアップ相談会も開催しています。

公共図書館の変化

1970年「市民の図書館」（著者：前川恒雄）以降
貸し出しとレファレンスと伸展活動（読書案内など）
が重視された

・求められる資料は、草の根をわけてでも探して提供する
・徹底した児童サービス
・網の目のように張り巡らされた図書館サービス
・来館者数、貸し出し冊数が指標
↓
無料貸本屋ではないかという批判が起きた

公共図書館の変化

2000年ころ

・司書館長でなくて良い（1999年　地方分権一括法）

・インターネットの普及

・バブル崩壊→図書費削減

2003年　　指定管理者制度が始まった

一部の業務委託など、民間事業者の参入が当たり前になっていった

2006年　文部科学省「これからの図書館像-地域を支える情報拠点をめざして」

これからの図書館の在り方検討協力者会議の報告

課題解決支援機能

地域にとっての有用性から、サービスを組み立てる

発想の逆転が必要になる

2013年　　佐賀県武雄市図書館

（代官山ツタヤがリニューアルした）

次々と斬新な図書館が出てきた

無料貸本屋批判から、地域課題解決型図書館へ

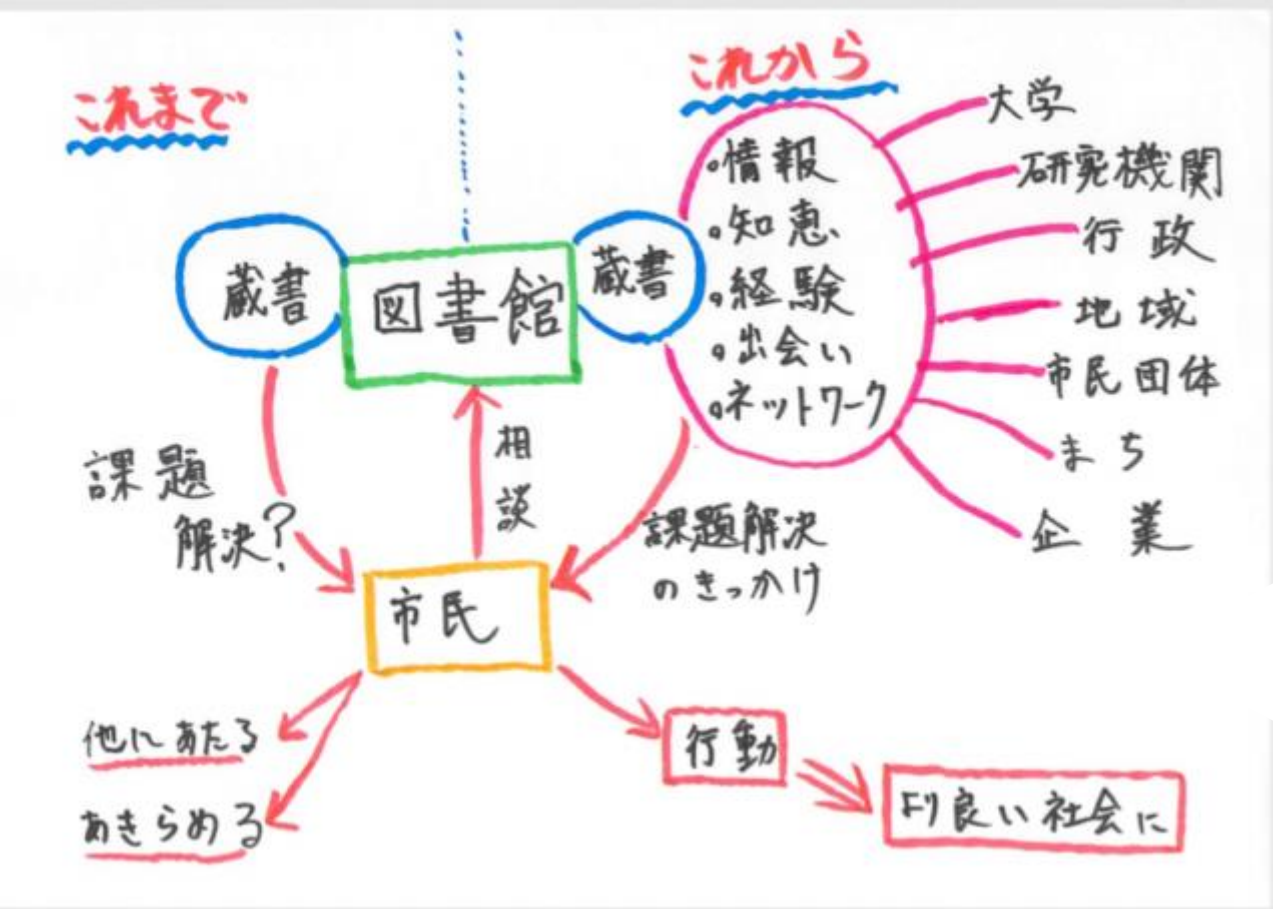
「他機関との連携によって、図書館は資料提供の場、読書施設であることを超えて、市民が多様な知的刺激を受ける場、多様な活動を行う場、知の広場へと変わりつつある」

キーワード「つながる」

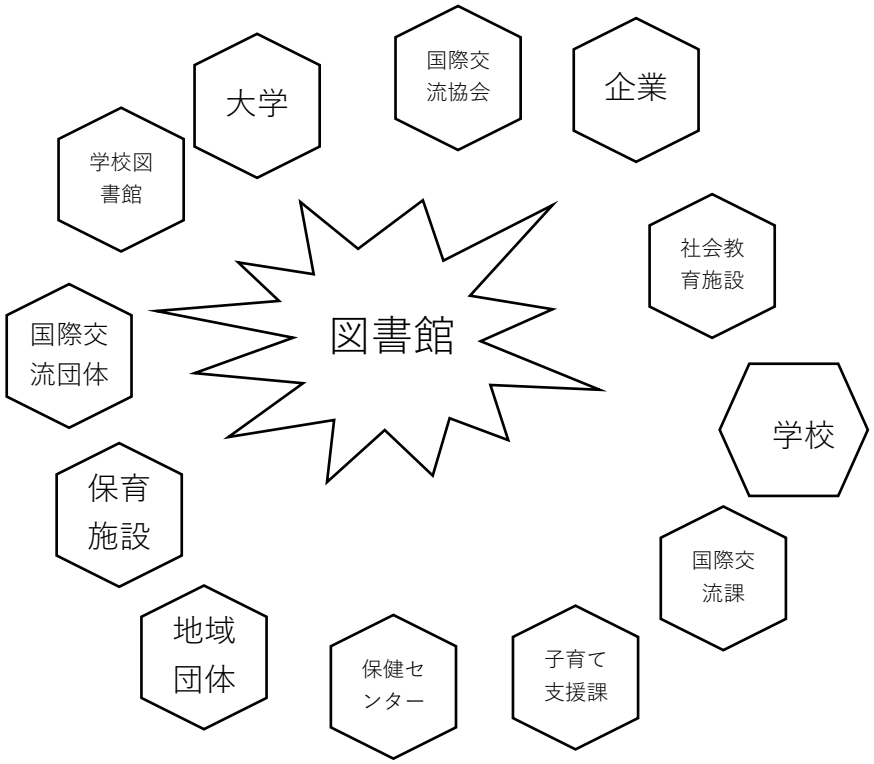
ネットワーク、図書館がハブになる

・カフェ
・一時保育
・聞き書き本が、資料になる
・おしゃべり

図書館が地域のハブとなるイメージ図



目黒区の図書館で、多文化サービスをテーマにした場合



Current Awareness Portal
図書館に関する情報ポータル

English / 日

CA－R　CA－E

カレントアウェアネス・ポータルは、図書館界、図書館情報学に関する最新の情報をお知らせする、国立国会図書館のサイトです。

ホーム

総務省、「地域における多文化共生推進プラン」を改訂：図書館を地域住民と外国人住民が相互に交流し、多文化共生に関する理解を深める場づくりを推進する施設の1つとして位置付け

Posted 2020年9月10日

東日本大震災

「災害」に関する当サ

調査研究リポート「東日本

国立国会図書館　東日本大震

2006年　推進プランが策定され、13年かかって、
2019年　全都道府県に推進プランが策定された。

2020年9月　改訂が発表された。

「多文化サービス実態調査2015報告書」（発行2017年）から

＜人の問題＞

① 地域の外国人ニーズが不明

② 職員の外国語対応能力が不足

<資料の問題＞

③ 資料費がない・少ない

④ 外国語図書の選書発注が困難

⑥ 外国語図書の整理が困難

⑦ 電算入力できない文字がある

⑧ 資料購入ルートの確保が困難

＜広報、宣伝の問題＞

⑤ 図書館のPR不足

⑨ 外国人は図書館に来ない　158館　（1割以上）

⑩ 日本語の資料で満足しているようだ

わが町の状況を変えるために、できることは、なにか？

1. いろいろな機関とつながっている図書館の
   実例を知ってもらうこと
2. 多文化サービスには、
   多言語サービスと多文化共生サービスがある。
   在住外国人は、地域の人財（資源）である。
   多文化共生のためのイベントは、すぐにできることである
3. 市民が図書館に、地域の機関や人財を紹介すること

茨城県取手市のイベント

- １昨年の「がいこくごと　にほんごの　おはなし会」では、

  ふじしろ図書館と

  国際交流協会と

  布のえほんグループと

  RAINBOWが

  協力しました。
- シンハラ語の「おはようおやすみ」です。スクリーンにシンハラ文字が映っています。

都道府県立図書館と
公益財団法人伊藤忠記念財団との協同事業

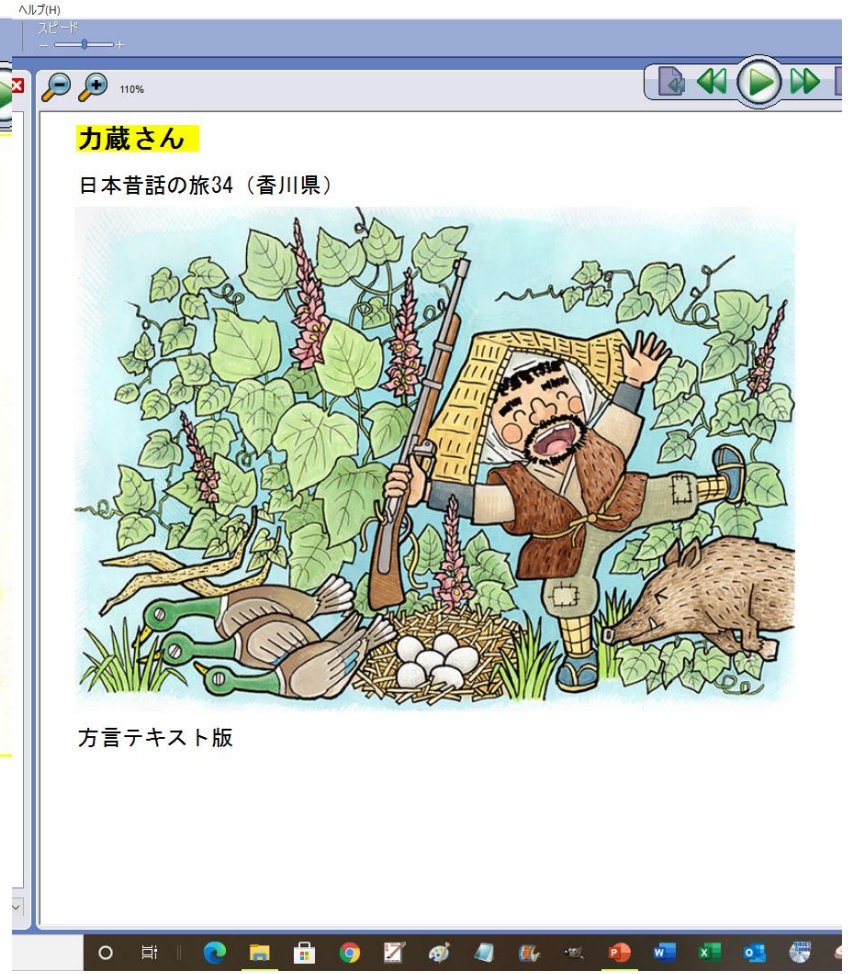
公益財団法人伊藤忠記念財団制作
「わいわい文庫」

財団が都道府県立図書館に呼びかけ、ご当地の昔話の「文字データ」「読み」「画像」の提供を受けて、「日本昔話の旅」シリーズを制作されています。

左の画像は、昨年の配布CDで
千葉県　京都府　香川県　群馬県　宮城県
広島県　福島県　兵庫県　富山県　大阪府
栃木県　神奈川県　青森県　秋田県
の図書館が協力して制作された
マルチメディアDAISY作品が入っています。

ブルーの盤は、だれでも利用することができます。

都道府県立図書館が協力した「日本昔話の旅」の表紙（一部）



千葉県立中央図書館

京都府立図書館

香川県立図書館

OSAKA MUNICIPAL LIBRARY
大阪市立図書館

音声読みあげ・文
画面下にアクセシビリ

言語切替：日本語　Englis

トップ　お知らせ　蔵書検索　利用案内　調べる・相談する　図書館を知る

図書館からのお知らせ

ニュース／イベント　>>　記事詳細

2020/12/08　【浪速】「多文化情報コーナー」ができました！

「多文化情報コーナー」ができました！

外国語資料コーナーを拡大して、多言語による生活情報やイベントなどの配布物を集めた「多文化情報コーナー」を作りまし
日本語学習や法律相談など、日本での暮らしに関する資料も一緒に展示しています。
どうぞご利用ください。

【場所】 浪速図書館カウンター前(21番書架)
【問い合わせ】 浪速図書館 電話 06-6632-4946
開館日・開館時間は「開館日・開館時間（開館カレンダー）」ページをご覧ください。

14:00 | その

大阪市立浪速図書館

2020年12月　多文化情報コーナー設置

2021年3月　多言語絵本リスト公開
約750冊

在住外国人の話を聞く　：　都内の小学校とRAINBOWの協同事業

中国系オーストラリア人の青年が、生い立ちを話してくれました。

「いろいろな文化ルーツをもっている友達がいるって、楽しいよ」

生の話は、子どもたちに訴える力がある。

在住外国人の話を聞く　：　都内の小学校とRAINBOWの協同事業

トーゴ共和国の方が、国の実情を話してくれました。

「だれでも、教育を受けられるってことは、ないんだよ」
「日本のランドセルが使われているよ」

次に向けて

これからの図書館の多文化サービスは、

多言語サービスと多文化共生サービスの両方があり、**多文化共生サービス**に取り組んでほしい

たとえば、在住外国人から直接、話を聞くイベント

ネットワークで動く

RAINBOWは

図書館総合展に出展して、多文化サービスの必要性を訴える

今年も150作くらいを、約1000館に寄贈し、アンケート回答をお願いする